

# ロアツソ熊本のトップチームへ昇格

森川泰臣選手がロアツソ熊本とプロ契約

J2ロアツソ熊本ユースで益城町田原出身の森川泰臣選手(D.F.)が10月24日、役場を訪れ、ユースからトップチームへの昇格が決まったことを町長に報告しました。

森川選手は「見てくれた人が楽しんでもらえるようなプレーが目標。トップチームで益城町をアピールできるように頑張りたい」と意気込みを語ってくれました。



昇格が決まった森川選手(写真中央)

役場3階大会議室で行われた記者会見では、サイン入りボールを住永町長に贈り、池谷社長とともに固く握手を交わしました。

町長は「一生懸命練習をして、早くKKウイングの真っ赤なグラウンドを駆け回って欲しい。そして、益城町を代表するサッカー選手になってもらいたい」とエールを送りました。

## 宝くじ助成事業で

## 「砥川獅子舞保存会」の備品を整備

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、

砥川獅子舞保存会の獅子本体、桶太鼓などが整備されました。

このコミュニティ助成事業は、宝くじ普及広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成決定を行っています。

会員からは「新しい獅子で奉納ができてよかった。大変うれしい」との声が上がっていました。

今後、砥川地区のさらなる活性化が期待されます。



整備された備品

### 【助成内容】

助成金額	金 160 万円
獅子本体	2頭
赤染め麻毛並品	2頭
獅子覆い	2枚
桶太鼓(1尺3寸)	3丁
桶太鼓(1尺9寸)	1丁
パチボウ	4組
太鼓台	1台
獅子頭収納箱	1箱
広報用ラベル	2枚

## 矢嶋楯子生誕 180 周年記念連載

矢嶋家三女

たけ ぎき  
**竹崎**

じゅん こ  
**順子**



竹崎 順子

文政8(1825)年矢嶋家三女として益城町杉堂に生まれる。明治における女子教育の先駆者で明治22年熊本女学校(後の熊本フェイス学院高等学校。現在は開

新高等学校と合併)を創設。

多くの女性の人材を世に送り、明治38年、81歳の終焉まで校長として、その責務を全うし、現在も校母として尊敬されている。

矢嶋楯子生誕180周年記念式典まで

**あと5か月**

平成25年5月11日(土)・12日(日)

### ウォーキングコースを下見

矢嶋楯子180ウォーキンググループは、来年5月11日、12日の矢嶋楯子生誕180周年記念式典に向けた取り組みを行っています。

今回は式典前日(5月11日)のフィールドワークのウォーキングコースを、県の地域づくりアドバイザーから助言をいただきながら下見をしました。



誰が歩いても分かりやすいルート、案内サイン、説明サインの検討、休憩所およびおもてなしなどすばらしいコースとなるよう今後も研究していきます。

矢嶋楯子生誕 180 周年記念事業実行委員会

問い合わせ先 町教育委員会生涯学習課  
☎ 286-3111 内線 322